

平成18年度の一般会計補正予算が、3月に開かれた議会定例会可決されました。

一般会計予算は歳入と歳出にそれぞれ5億4,722万円を追加し、補正後の一般会計予算総額は201億2,816万4千円となりました。

今回の補正は、本庁舎増築事業2億円の増額のほか、入札などによる契約金額の確定に伴う工事請負費などの減額を行ないました。

また、将来にわたっての安定した市民サービスへの提供を図るための財政調整基金や減債基金への積立金の増が主なものとなっています。